

「課題名：ヒト IgA 腎症患者組織におけるミネラルコルチコイド受容体の発現に関する検討」について

○ 研究の意義・目的

腎疾患の進展に高血圧症が関与していることが知られています。急性腎障害後に食塩感受性が亢進し、食塩負荷にて高血圧を来すことが報告されていますが、その機序はまだ明らかになっていません。近年、ミネラルコルチコイド受容体の発現亢進が食塩感受性高血圧症に関与するとの報告があります。今回、IgA 腎症と診断されたヒト腎生検組織を用いて、ミネラルコルチコイド受容体の発現を検討し、血圧や腎障害との関連性について調べます。腎虚血によってミネラルコルチコイド受容体の発現が亢進し、腎疾患の進展に関与することを検討するため、この研究を計画しました。

なお、本研究は本学の疫学研究倫理審査委員会および理事（医療担当）の承認、許可を得て施行しております。

○ 研究対象者

2016年4月1日から2019年3月31日までに、広島大学病院広島大学病院腎臓内科に入院し、腎生検にてIgA腎症と診断された方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、身長、体重、性別、血液検査（血液一般検査、血液生化学検査）、尿検査、血圧、内服薬、IgA腎症の病期分類、腎生検組織所見です。腎生検時に作成したパラフィン切片の残余を用いて、免疫染色を行います。（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院 腎臓内科 教授 正木崇生

○ 研究期間 2019年11月6日（委員会承認後）～ 2026年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1506

広島大学病院腎臓内科

広島大学病院透析内科

教授 正木 崇生（研究責任者）

准教授 土井 盛博（担当者）

医歯薬保健学研究科腎臓内科学 大学院生 松本 拓視 (担当者)